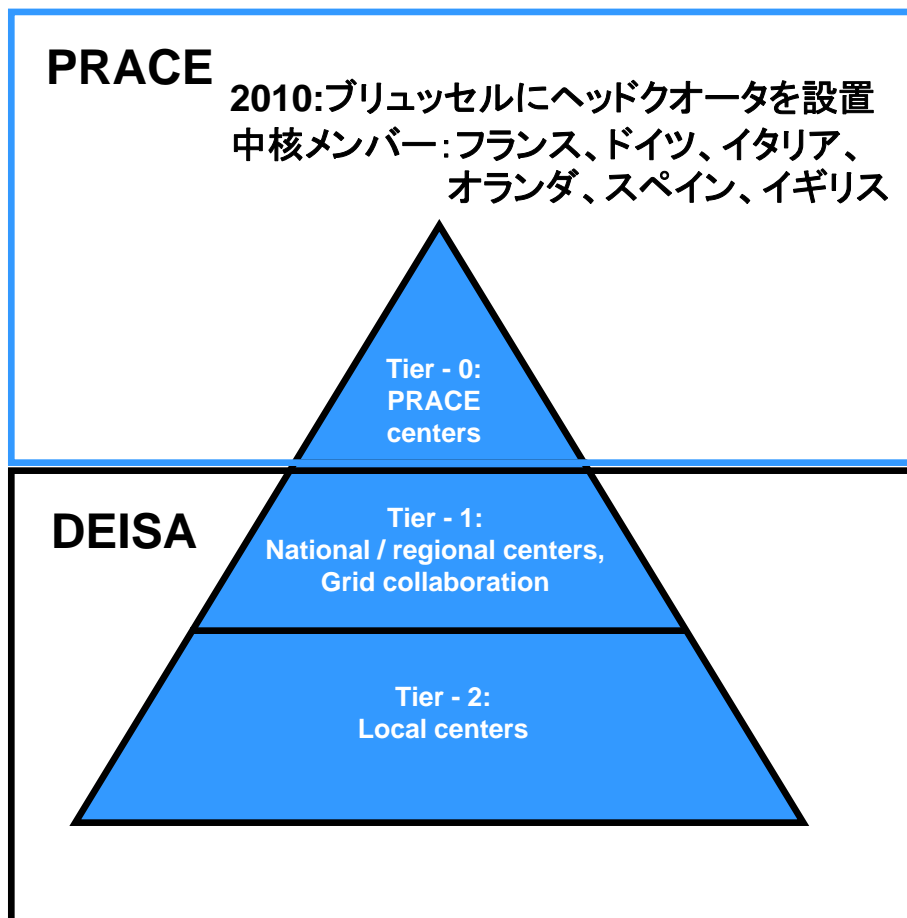


PRACEについて(1/2)

PRACE (Partnership for Advanced Computing in Europe)

ヨーロッパのHPCを連携させ、最先端のアプリケーションで科学と産業を結びつけるユーザコミュニティを構築する(ヨーロッパ27ヶ国の内20ヶ国が参加)



PRACEの活動

- ・運営の検討
- ・研究基盤の組織コンセプト作成
- ・理解増進活動とトレーニング
- ・分散システムの管理
- ・プロトタイプシステムの配備
- ・ペタ級システムのためのソフトウェア開発
- ・2009/2010にペタ級システム配備
- ・超ペタ・エクサ級コンピュータテクノロジー検討

アプリケーション調査

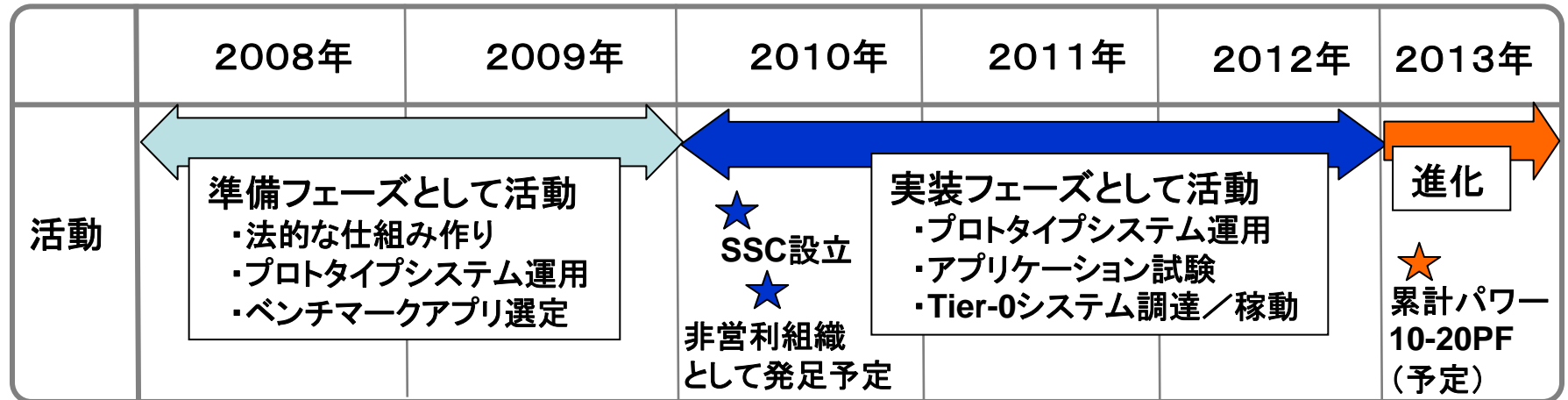
- ・70アプリケーションの調査
- ・22アプリケーションを標準ベンチマークに選出

プロトタイプシステム

- ・アプリケーション試験のため9システムを拠出
- ・最大試験期間3ヶ月

DEISA (Distributed European Infrastructure for Supercomputing Applications)

PRACEについて(2/2)



準備フェーズ

・参加国

Principal Partners: フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、スペイン、イギリス

General Partners: オーストリア、フィンランド、ギリシャ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スウェーデン、スイス

Additional General Partners of the PRACE Initiative: ブルガリア、チェコ共和国、キプロス、アイルランド、セルビア、トルコ
 資金はPrincipal Partner、EUとGeneral Partnerで負担

・Tier-0システム準備として、プロトタイプシステムを選定／配備(8組織9システム)して大学、研究所および企業にアプリケーション試験を推奨

プロトタイプシステム拠出組織

国立計算高等教育センター(フランス)、原子力庁(フランス)+ユーリヒ総合研究機構(ドイツ)、原子力庁(フランス)+ライブニッツコンピューティングセンター(ドイツ)、シュトゥットガルト大学高性能計算機センター(ドイツ)、ユーリヒ総合研究機構(ドイツ)、
 国営コンピューティング施設(オランダ)、バルセロナスーパーコンピューティングセンター(スペイン)、科学情報技術センター(フィンランド)+国立スーパーコンピュータセンター(スイス)

最初のPRACEシステムが2009年6月にドイツユーリヒ総合研究機構に設置(JUGENE(IBM))、二番目のシステムは2010年末にフランス技術研究コンピュータセンターに設置予定

実装フェーズ

- ・2010年前半に非営利組織としてブリュッセルに本部を設立
- ・中核組織となるステアリングコミッティ(SSC、最大21名)のメンバーを大学、研究所および企業から選出し設立
- ・科学コミュニティを連携させる研究インフラの構築
- ・Tier-0の基本ベンチマーク設定、調達、稼動予定(2010年7月)